平成25年２月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年７月11日

上場会社名　　株式会社ダイヤモンドダイニング　　上場取引所　大
コード番号　　3073　　ＵＲＬ　http://www.diamond-dining.com/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）松村　厚久
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長　　（氏名）樋口　康弘　　ＴＥＬ　03-6860-3250

四半期報告書提出予定日　　平成24年７月13日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年２月期第１四半期の連結業績（平成24年３月１日～平成24年５月31日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年２月期第１四半期	6,232	61.9	183	－	222	－	89	－
24年２月期第１四半期	3,849	△8.9	△93	－	△69	－	△166	－

（注）包括利益　　25年２月期第１四半期　　104百万円　（－%）　　24年２月期第１四半期　　△166百万円　（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年２月期第１四半期	3,718.37	－
24年２月期第１四半期	△6,887.00	－

（注）平成24年６月１日付で普通株式１株につき２株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年２月期第１四半期	12,701	2,871	22.6
24年２月期	12,184	2,839	23.3

（参考）自己資本　　25年２月期第１四半期　　2,871百万円　　24年２月期　　2,839百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年２月期	－	0.00	－	3,000.00	3,000.00
25年２月期	－				
25年２月期（予想）		0.00	－	2,500.00	2,500.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無
（注）平成24年２月期の期末配当金には、記念配当500円を含みます。
（注）平成24年６月１日付で普通株式１株につき２株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、24年２月期及び25年２月期（予想）の配当金を記載しております。

３．平成25年２月期の連結業績予想（平成24年３月１日～平成25年２月28日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	12,649	23.6	534	272.3	566	195.0	267	－	11,056.06
通期	25,753	10.8	1,386	55.5	1,450	48.2	700	222.4	28,958.06

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無
（注）平成24年６月１日付で普通株式１株につき２株の株式分割を行っておりますが、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり当期純利益を算定しております。

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

（注）詳細は、添付資料Ｐ．３「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年２月期１Ｑ	24,220株	24年２月期	24,220株
② 期末自己株式数	25年２月期１Ｑ	44株	24年２月期	44株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年２月期１Ｑ	24,176株	24年２月期１Ｑ	24,176株

（注）平成24年６月１日付で普通株式１株につき２株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来見通しに関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により本資料記載の予想と異なる可能性がございます。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（４）追加情報 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（６）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景として緩やかな回復基調が見られたものの、依然として厳しい状況でありました。

当社グループを取り巻く経営環境におきましても、消費者の低価格志向や節約志向は依然として根強く、加えて、消費税率引き上げ論議にともなう消費マインドの低下が懸念されるなど、引き続きなお予断を許さない状況で推移いたしました。

このような環境下、当社グループは当期を第２創業期と位置付け、『世界一のエンターテイメント外食企業グループ』へ向けた収益基盤強化を図るため、マルチブランド戦略へ舵を切り、ブランディング及びマーケティング強化による集客力向上に積極的に取り組む一方、センター物流の推進等によるコスト削減、店舗のスクラップ＆ビルド及び業態変更にも取り組んでまいりました。

また、当第１四半期連結累計期間において、当社グループは、ライセンス事業に進出いたしました。これは、当社の子会社である株式会社ゴールデンマジックが前連結会計年度において、低価格高品質の新規業態として開発・出店した『やきとり ○金（まるきん）』（平成24年５月31日現在 直営４店舗展開）が好調に推移していることから、同業態をライセンスモデルとして事業展開することで当社グループの業績拡大、安定収益化等が図れると判断したものであります。今後、同事業を当社グループの新たなる事業の柱とすべく積極的に取り組んでまいる予定であります。

当社グループ各社の店舗展開状況及び直営店舗数につきましては、当社単体では３店舗の業態変更を実施し計91店舗、株式会社ゴールデンマジック及び株式会社サンプールは両社各１店舗のグループ内譲渡を実施しそれぞれ計39店舗（ライセンス店舗数はゼロ）、4店舗となり、株式会社シークレットテーブルは２店舗のグループ内譲受、３店舗の業態変更により計34店舗、アミューズメント事業を主に展開する株式会社バグースは新業態となります「Hiroo Golf IMPACT」（ゴルフスクール）１店舗の新規出店、３店舗の退店により計52店舗となっております。

米国ハワイ州の日本食レストラン１店舗を含めた平成24年５月31日現在における当社グループの直営店舗数は、計221店舗となっております。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の連結業績は、売上高6,232百万円（前年同期比61.9%増）、営業利益183百万円（前年同期は93百万円の営業損失）、経常利益222百万円（前年同期は69百万円の経常損失）、四半期純利益89百万円（前年同期は166百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント業績は以下のとおりであります。

なお、当第１四半期連結会計累計期間において、当社グループはライセンス事業に進出したことにより、同事業を新たなセグメントとして追加しております。

① 飲食事業

マルチブランド戦略へ舵を切りました飲食事業におきましては、当社グループの強みである「コンセプト」・「空間」・「ストーリー」を一層魅力あるものにし、お客様のリピート率向上を図るため、従来以上にQSC（Quality：品質．Service：サービス．Cleanliness：清潔さ）の強化・徹底に取り組んでまいりました結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は4,624百万円（前年同期比20.1%増）、セグメント利益は411百万円（前年同期比125.3%増）となりました。

② アミューズメント事業

「BAGUS」ブランドにて展開しておりますアミューズメント事業におきましては、ビリヤード・ダーツ部門では初心者をターゲットとした新規顧客層の獲得に注力し、複合カフェ部門ではエリアに適した価格帯の新ブランドを追加投入することで、集客力向上に取り組んでまいりました結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は1,581百万円、セグメント利益は182百万円となりました。

なお、同セグメントにつきましては前年同期実績がないため、前期同期比較はしておりません。

③ ライセンス事業

ライセンス事業におきましては、定期的な事業説明会、店舗見学会等による積極的な加盟店募集を実施いたしました結果、当第１四半期連結累計期間において14加盟を獲得することができました（但し、平成24年５月31日現在14加盟全て未出店）。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は26百万円、セグメント利益は15百万円となりました。

なお、同セグメントにつきましては前年同期実績がないため、前年同期比較はしておりません。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ517百万円増加し、12,701百万円となりました。主な要因といたしましては、前連結会計年度末に比べ現金及び預金が729百万円増加した一方、有形固定資産が62百万円、投資その他の資産が119百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ485百万円増加し、9,830百万円となりました。主な要因といたしましては、短期借入金、１年内返済予定の長期借入金及び社債がそれぞれ251百万円、119百万円、140百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ31百万円増加し、2,871百万円となりました。主な要因といたしましては、利益剰余金及び為替換算調整勘定がそれぞれ17百万円、14百万円増加したこと等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年４月13日付「平成24年２月期決算短信[日本基準]（連結）」で開示いたしました平成25年２月期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（１株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用）

当第１四半期連結会計期間より、「１株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第２号 平成22年６月30日）、「１株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第４号 平成22年６月30日公表分）及び「１株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第９号 平成22年６月30日）を適用しております。

当第１四半期連結貸借対照表日後（平成24年６月１日付）において株式分割を行いましたが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり四半期純利益金額又は１株当たり四半期純損失金額を算定しております。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年２月29日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年５月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,311,554	3,040,648
売掛金	282,951	310,877
商品	10,399	12,802
原材料及び貯蔵品	109,861	108,583
その他	879,433	847,017
貸倒引当金	△1,350	△1,937
流動資産合計	3,592,850	4,317,992
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,373,697	7,171,319
減価償却累計額	△4,325,068	△4,247,706
減損損失累計額	△498,596	△421,258
建物（純額）	2,550,031	2,502,354
工具、器具及び備品	2,150,811	2,143,237
減価償却累計額	△1,816,422	△1,814,679
減損損失累計額	△60,088	△48,495
工具、器具及び備品（純額）	274,300	280,062
土地	90,216	90,216
リース資産	481,772	455,985
減価償却累計額	△171,804	△186,378
減損損失累計額	△25,875	△7,650
リース資産（純額）	284,093	261,956
建設仮勘定	965	2,301
有形固定資産合計	3,199,608	3,136,891
無形固定資産		
のれん	605,653	574,214
その他	28,292	34,316
無形固定資産合計	633,945	608,530
投資その他の資産		
差入保証金	4,241,165	4,103,833
その他	516,856	534,720
投資その他の資産合計	4,758,021	4,638,553
固定資産合計	8,591,575	8,383,976
資産合計	12,184,426	12,701,968

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年２月29日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年５月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	497,045	505,761
短期借入金	491,600	743,200
1年内返済予定の長期借入金	1,812,372	1,931,392
1年内償還予定の社債	140,000	180,000
未払法人税等	261,112	131,420
賞与引当金	48,385	119,914
株主優待引当金	7,339	6,786
資産除去債務	20,263	7,704
その他	1,527,851	1,533,061
流動負債合計	4,805,970	5,159,241
固定負債		
社債	420,000	560,000
長期借入金	3,039,335	3,039,747
資産除去債務	377,922	391,539
負ののれん	236,368	205,930
その他	465,184	474,266
固定負債合計	4,538,810	4,671,482
負債合計	9,344,780	9,830,724
純資産の部		
株主資本		
資本金	502,015	502,015
資本剰余金	492,015	492,015
利益剰余金	1,844,922	1,862,290
自己株式	△2,413	△2,413
株主資本合計	2,836,539	2,853,906
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,105	17,337
その他の包括利益累計額合計	3,105	17,337
純資産合計	2,839,645	2,871,244
負債純資産合計	12,184,426	12,701,968

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年３月１日 至　平成23年５月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年３月１日 至　平成24年５月31日）
売上高	3,849,793	6,232,429
売上原価	1,013,791	1,419,226
売上総利益	2,836,001	4,813,203
販売費及び一般管理費	2,929,752	4,629,870
営業利益又は営業損失（△）	△93,750	183,332
営業外収益		
負ののれん償却額	30,438	30,438
その他	10,369	38,719
営業外収益合計	40,808	69,158
営業外費用		
支払利息	15,935	23,806
その他	370	6,560
営業外費用合計	16,305	30,367
経常利益又は経常損失（△）	△69,248	222,123
特別利益		
固定資産売却益	1,300	34,183
特別利益合計	1,300	34,183
特別損失		
固定資産除却損	－	37,666
減損損失	35,739	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	120,737	－
その他	7,012	－
特別損失合計	163,490	37,666
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△231,438	218,640
法人税等合計	△64,938	128,745
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△166,500	89,895
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△166,500	89,895

(四半期連結包括利益計算書)
(第１四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成23年３月１日 至　平成23年５月31日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成24年３月１日 至　平成24年５月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△166,500	89,895
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	－	14,231
その他の包括利益合計	－	14,231
四半期包括利益	△166,500	104,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△166,500	104,126
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）セグメント情報等
Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成23年３月１日　至　平成23年５月31日）
当社グループは飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成24年３月１日　至　平成24年５月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	飲食事業	アミューズメント事業	ライセンス事業	合計		
売上高						
（１）外部顧客への売上高	4,624,799	1,581,630	26,000	6,232,429	－	6,232,429
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	4,624,799	1,581,630	26,000	6,232,429	－	6,232,429
セグメント利益	411,163	182,737	15,907	609,808	△ 426,476	183,332

（注）１．セグメント利益の調整額△ 426,476千円は、主に各報告セグメントに配分していない間接部門費用であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
３．当第１四半期連結累計期間において、当社グループはライセンス事業に進出したことにより、同事業を報告セグメントに追加しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

（株式分割について）

当社は平成24年６月１日付で、株式分割を下記のとおり実施いたしました。

１．株式分割の目的

当社株式の流動性の向上、投資家層の更なる拡大を目的として、株式の分割を行うものであります。

２．株式分割の概要

(1)分割の方法

平成24年５月31日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を１株につき２株の割合で分割いたしました。

(2)分割により増加する株式数

株式分割前の当社発行済株式総数　12,110株

今回の分割により増加する株式数　12,110株

株式分割後の当社発行済株式総数　24,220株

株式分割後の発行可能株式総数　100,000株

今回の株式分割に際しては、資本金の増加はありません。

３．日程

・基準日公告日　平成24年５月16日

・基準日　平成24年５月31日

・効力発生日　平成24年６月１日